

岩手分科会

開催日 **平成24年11月17^日~18^日**

会場 **岩手大学**

テーマ

まちづくりと人材養成

趣旨

過疎化は、被災地だけではなく全国各地で抱える課題の一つとなっています。今後の「まちづくり・ひとづくり(人材の養成)」を進めていく上で、急激に進んだ過疎化への対策も並行して考えていく必要があります。

様々な世代や立場(組織)によるネットワーク化と、過疎化に直面したこれからの被災地の「まちづくり・ひとづくり」について、新しい試みや発想・行動につながる可能性を提案し、全国に発信していきます。



プログラム構成

11月17日(土)		11月18日(日)	
時間	内容	時間	内容
10:00 ～ 10:30	開会行事 ・主催者挨拶 ・オープニングセレモニー	9:00 ～ 12:00	熟議 ・趣旨説明 ・テーマ ①学校と地域で育てるコミュニティ ②被災地出身の若者による復興まちづくり ③生徒熟議 ④女性の起業 ⑤心のケア ⑥防災計画づくり
10:30 ～ 12:00	基調講演 「今を生きる ともに生きる」 講演者：藤里明久（毛越寺執事長）		
13:00 ～ 14:40	取組報告		
15:00 ～ 17:00	パネルディスカッション		
	ポスターセッション	13:00 ～ 14:00	熟議グループ発表・総括
		14:15 ～ 15:45	クロージングイベント 「全国生涯学習ネットワークフォーラム 2012の総括と2013岩手大会に向けて」
			ポスターセッション

第1日目 11月17日(土)

■ オープニングセレモニー —10:00~10:30

第4学年児童

滝沢村立一本木小学校

本校は、創立112年を迎え、児童154名が豊かな自然環境の中で、元気に学校生活をおくっている。今年度、「いわての復興教育推進校」の指定を受け、復興を担うひとづくりを進めている。

その一環として「地域の絆・人と人のつながり」をテーマとした公募による歌詞の「ハンド・イン・ハンド」の歌を合唱している。



■ 基調講演 —10:30~12:00

「今を生きる とともに生きる」

藤里 明久氏

毛越寺 執事長

1950年、岩手県平泉町生まれ。毛越寺一山大乗院住職。毛越寺法務部長、事業部長、財務部長等を歴任し、1999年4月から現職。これまで、平泉町教育委員会委員、平泉中学校PTA会長、岩手県立一関第一高等学校PTA会長等を歴任。



■ 取組報告 —13:00~14:40

柏崎 龍太郎氏

NPO法人釜石東部漁協管内復興市民会議 理事長

1918年釜石市生まれ。釜石市青年団の会長として、地区の郷土芸能の伝承に力を入れる。1995年より釜石市社会教育委員を務め現在に至る。観光ボランティアガイドの会の立ち上げ等地域社会の活性化に取り組み、現在では、地域の町内会顧問を引き受けながら、本年5月1日よりNPO法人釜石東部漁協管内復興市民会議を立ち上げ理事長に就任している。



岩大E_code

岩大(がんだい)E_code 岩手大学の学生と教員から構成される陸前高田市復興応援チーム。2012年月に正式結成。陸前高田を中心とした広域コミュニティの形成・拡大に貢献することを目指し、無料情報誌「いいことマップ」の作成と、ソーシャルメディア活用に取り組んでいる。



塩田 朋陽氏

大阪大学人間科学部

大阪府生まれ。大阪大学人間科学部ボランティア行動学分野4年。昨年5月から岩手県野田村でボランティア活動に入る。2012年度より休学し、NPO法人チーム北リアスの現地事務所事務局として、ボランティアの受け入れ・調整、イベント企画・立案、仮設住宅・みなし仮設住宅の見守り等の活動を続けている。



中山 太郎氏

神戸大学発達科学部

兵庫県生まれ。神戸大学発達科学部人間形成学科心理発達コース4年。2012年度より1年間休学し、5月から岩手県陸前高田市にホームステイ。現在は地元の方々から立ち上げた復興支援チーム(P@CTパクト)に所属し、小学生を対象とした子ども支援活動等に従事している。



藪内 菜愛氏

神戸大学医学部

大阪府生まれ。看護師免許を取得後、神戸大学に3年次編入。岩手県陸前高田市において、継続的な仮設住宅訪問、見守り活動、うつ傾向の高齢者に対する心のケアを行っている。また、サポートセンターで、総合相談や訪問業務にも従事している。



葛巻 徹氏

NPO法人 いわて連携復興センター 事務局長

1977年岩手県花巻市出身。大学進学で福島市、就職で仙台市と合わせて8年を経て帰郷。サラリーマン時代は鉱業関係の仕事をしたが、地元花巻市の中間支援NPO等の活動に携わる。発災後、岩手県内の中間支援NPOのネットワーク母体として、2011年4月 釜石市の中間支援NPOの代表である鹿野順一氏らと「いわて連携復興支援センター」を設立。2011年8月からサラリーマンを退職し、同職にて勤務。



■パネルディスカッション —15:00~17:00

新妻 二男氏

岩手大学教育学部 教授

1951年宮城県生まれ。専門は社会教育学・地域社会学。地域から学び、地域で学ぶことをモットーに、地域社会の構造的変化をもたらす住民や子どもの生活世界の変容過程及びそこに生み出される生活・発達課題の解決に向けた「学び」について研究している。また、昨年度からは、岩手大学三陸復興推進機構の教育支援部門長として、学生と共に被災地の学習支援活動等に参加している。



関 嘉寛 氏

関西学院大学社会科学部 教授

博士(人間科学) 専門は社会学(ボランティア論/災害復興論)。現代社会において、人びとが社会に関わる(社会参加)のきっかけとしてのボランティア活動について考える。また、災害後の地域復興にも関心を寄せる。新潟県中越地震では、中山間地の集落で、東日本大震災では、岩手県野田村で活動/研究を行っている。



伊藤 雅人 氏

NPO法人 P@CT代表

1982年岩手県陸前高田市生まれ。知的障がい者施設を退職し、有給休暇消化中に3.11を迎える。震災後、消防団や地域の手伝いをする中で支援物資として届けられた一つのおにぎりをきっかけに、陸前高田市災害ボランティアセンターでマッチング班として活動を始める。現在でも、同ボランティアセンターで勤務を行いながら、外部の支援団体等と協力しながら地域の子ども達の居場所作りとして「みちくさルーム」、地域のコミュニティスペースとして「エコファーム」を開設。2012年10月より漁業支援も行っている。



広田 純一 氏

岩手大学農学部 教授

1954年東京都生まれ。東京大学助手を経て、1985岩手大学講師、1999年教授(農学博士)。専門は農村計画・地域計画。1990年代後半より学生とともに、県内外の地域づくり活動支援に携わり、2005年にNPO法人いわて地域づくり支援センターを立ち上げ(理事長)。東日本大震災後は、地域コミュニティの再建支援を中心に、国・岩手県・被災市町村の復興構想・復興計画の策定に関わる。



齋藤 正宏 氏

NPO法人遠野まごころネット
理事・事務局長

1959年福井県生まれ。大学在学中よりフリースクールの運営に関わる。自然農法の会「のんぼの会」や私塾「学びの場」を主催・運営。重度身障者施設等に勤務後、2011年4月より、遠野まごころネットに参加、同年末から現職。陸前高田市での事業統括を行うとともに、コミュニティ再建事業「まごころの郷」を展開中。



吉田 律子 氏

サンガ岩手 代表

1947年生まれ。真宗大谷派僧侶。東本願寺青少年センタースタッフ、ネパール子供支援ボランティアとして活動。震災後、傾聴ボランティア・心のケアとして、サンガ岩手を設立。2012年7月、岩手県大槌町に自立生活支援として、手づくり工房・カフェを立ち上げ、地域交流・生き甲斐仲間づくり・仕事づくりの活動に従事している。



千葉 典子 氏

遠野市健康福祉部健康福祉の里
長寿課長

1956年遠野市生まれ。1979年保健師として遠野市役所入庁、2012年より現職。震災時は被災地の避難場所や各家庭を訪問し、支援活動に従事。現在は、遠野市内の仮設住宅等において避難生活を送っている方々に対し、継続して心身のケアを行っている。



第2日目 11月18日（日）

■熟議 —9:00~12:00

- テーマ
- ①学校と地域で育てるコミュニティ
 - ②被災地出身の若者による復興まちづくり
 - ③生徒熟議
 - ④女性の起業
 - ⑤心のケア
 - ⑥防災計画づくり

ポスターセッション

1 岩手県釜石市立釜石中学校生徒会・釜石市立唐丹中学校生徒会

釜石市立釜石中学校：2006年4月、市内の三中学校が統合し、新生「釜石中学校」が創立。地域学習や奉仕活動に取り組んでいます。2012年度の全国生徒会サミットにおいて、会場校の生徒会として『協力して物事をやり遂げること』や『仲間を思いやる気持ちが大切』等を学びました。現在、震災後の釜石の復興のため、笑顔と元気を発信できる生徒会活動を行っています。

釜石市唐丹中学校：1947年4月に新制中学校として創立。2012年度の全国生徒会サミットにおいて、挨拶することの大切さを学び、そこで学んだことを学校の生徒会活動に生かし、全校で取り組んでいます。

テーマ 立ち上がり中学生

2 NPO法人 いわて連携復興センター

岩手県の間支援組織が集まり、沿岸部の復興に向け、必要な情報・技術を提供し、被災された方々が前向きに地域復興に向け進まれることを目的として活動しています。



テーマ 被災された方々が前向きに復興に向けて歩むために

3 NPO法人 遠野まごころネット

被災した沿岸部の方々を支援するため、岩手県遠野市民を中心として結成されたボランティア集団です。遠野市から沿岸部へ片道40kmの地の利を生かし、まごころ百姓隊、カフェ隊等のチームを結成し取り組んでいる様々な活動を紹介します。



テーマ 長い復興への道のりを三陸地方の方々と共に行動し続けるために

4 公益社団法人 日本国際民間協力会 (NICCO)

NICCOは京都生まれ、京都市育ちの日本で最も長い歴史と実績を持つ国際協力NGOのひとつです。国内外の緊急災害支援、途上国での自立支援や人材育成を中心に活動しています。

東日本大震災においても、震災発生2日後より巡回医療、物資配布などの支援を開始しました。その後も、炊き出し、がれき撤去、ボランティア派遣、害虫の駆除などを実施。2012年は特に心理社会ケア、東北名産品づくりによる経済復興支援、子どもの夢支援、農業復興支援に力を入れています。



テーマ 長期的な視野に立った支援を

5 認定NPO法人 ジャパン・プラットフォーム (JPF)

JPFは、これまでの緊急人道支援における経験をもとに、地震発生後3時間後には出動を決定するというスピードで支援に取り組んできました。コミュニティ支援、セーフティネット、生業支援、コーディネート&サポートの4つの支援領域で、様々な取組を進めてきています。



テーマ 緊急人道支援 迅速かつ効果的な支援を目指して

6 いわて高等教育コンソーシアム

いわて高等教育コンソーシアムでは「地域を担う中核的人材育成事業」として、①沿岸復興活動拠点形成、②大学進学、③中核的人材育成、④地域貢献の4つの事業を柱に震災からの復興に取り組んでいます。

また、学生による「きずなプロジェクト」では、肉体労働から地域イベントの補助、学習支援活動まで様々なボランティア活動を行っています。



テーマ 岩手の復興を人材育成から 今こそ連携と力で！

7 岩手大学三陸復興推進機構

岩手大学は、全学組織の三陸復興推進機構を中心に、オール岩大体制で復興支援活動を行っています。復興まちづくりに関しては、同機構の地域コミュニティ再建支援班が支援を行っており、自治体等に対して、まちづくりの助言等を行っています。



テーマ 「岩手の復興と再生に」オール岩大パワーを

案内図

